

しなののうた

太陽と月と地球の織りなせる天体シヨウに言葉を絶す



杉田小百合

しなののうた

畏れにも似た感情に包まれて暗き風吹き身の締めまりゆく

杉田小百合



しなののうた

煤塗りて下敷きで見し日食の黒き太陽おぼろに浮かぶ

l.MI

杉田小百合

しなののうた

木漏れ日の路上に移る三日月の日食の影に足の止まるる

杉田小百合



しなののうた

日食の向きが同じく映さるる路上の影を追いつつ見上ぐ



杉田小百合